

岩船寺縁起

岩船寺の創立は、天平元年（七二九）、聖武天皇が出雲國不老山大社に行幸の時、靈夢があり、大利國鳴川の善根寺に籠居していた僧行基に命じて阿弥陀堂を建立したのに始まる。

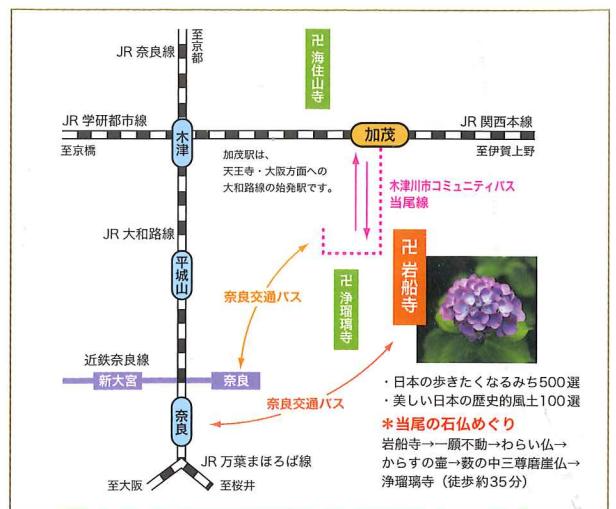
その後、弘法大師と姉の子の智泉大徳が伝法灌頂を修し、大同元年（八〇六）、新たに灌頂堂として報恩院を建立した。さらに嵯峨天皇が智泉大徳に勅命して皇孫誕生祈願をさせたところ、皇子（仁明天皇）が誕生。皇后の橘嘉智子が特にご叡信が深く、皇子誕生のこともあり弘仁四年（八三三）に堂塔伽藍が整備され、寺号も岩船寺となる。

最盛期には東西十六町、南北十六町の広大な境内に三十九の坊舎を有したが、承久の乱（一二二三）の兵火により、堂塔の大半を焼失。再建後も再び兵火で失い、江戸時代寛永の頃（一六二四～一六四三）には本堂、塔、坊舎、鎮守社等、十字ほどになる。荒廃ぶりを嘆いた文了律師が必死で勧進を行い、さらに徳川家康・秀忠らの寄進により本堂、仏像等の修復をする。

鎌倉から江戸末期まで南都興福寺・乘院の末寺であったが、明治十四年に真言律宗西大寺の末寺となって今日に至る。昭和六十三年に本堂を再建。平成十五年に三重塔を修理、内部壁画復原。

現在、岩船寺には多くの文化的遺産を蔵し、静寂な境内には四季を通して多くの花が咲き誇る。特に梅雨期に咲く紫陽花は赤・青・白色など鮮やかな色彩が新緑の境内を染め、人の心をなごませてくれる。

# 岩船寺



### 「電車・バスの場合」

- JR 関西本線(大和路線)加茂駅から木津川市コミュニティバス(加茂山の家行き)で約 16 分、「岩船寺」下車すぐ。
  - ・大阪——JR 大和路線・快速(大阪～加茂)約 65 分
  - ・京都——JR 奈良線・みやこ路快速、JR 大和路線・快速(京都～木津～加茂)約 60 分
  - ・奈良——JR 大和路線・快速(奈良～加茂)約 16 分
  - JR 奈良・近鉄奈良駅から奈良交通バス(淨瑠璃寺行き)で約 26 分、「淨瑠璃寺前」下車。木津川市コミュニティバス(JR 加茂駅行き)に乗り換え約 7 分、「岩船寺」下車すぐ。
  - ・奈良交通バス(下狹川・広岡行き)で約 25 分、「岩船寺口」下車。徒歩約 30 分[自動車の場合]
    - ・大阪——阪神高速・第二阪奈・奈良・府道 44 号線(加茂方面)約 60 分
    - ・京都——国道 24 号線・京奈和自動車道(木津 IC)・府道 44 号線(加茂方面)約 60 分
  - ・奈良——府道 44 号線(加茂方面)・加茂・淨瑠璃寺前 約 20 分

カーナビ検索は電話番号検索が便利です  
《0774-76-3390》



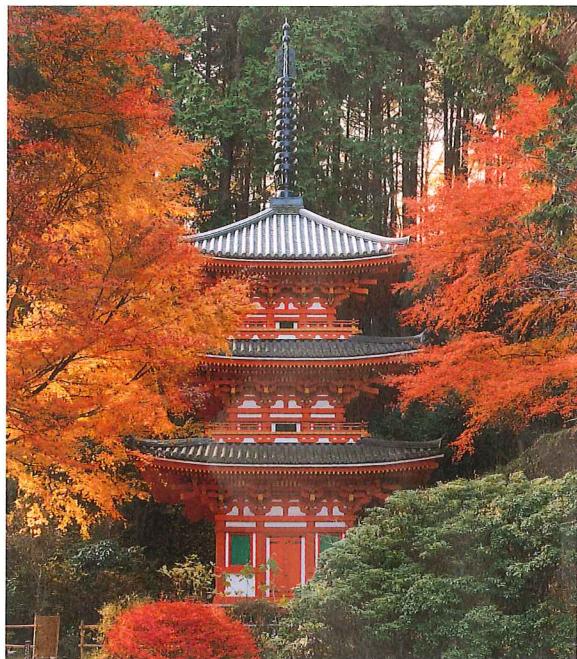
西花の寺二十五カ所靈場会ホームページ  
15番 岩船寺

# 言船寺

〒619-1133 京都府木津川市加茂町岩船上ノ門 43 番地  
TEL.0774-76-3390

**拝観時間** 午前8時30分～午後5時  
(12月～2月)午前9時～午後4時





三重塔



隅鬼 《天邪鬼》 重要文化財

三重塔（室町時代） 重要文化財  
建立当初の文様・色彩及び壁画が明らかになり、平成十五年に復原。壁画は鎌倉時代の遺風を残す室町時代の作とみられ、その画風は南都仏画の影響が強いものである。来迎柱には昇竜、降竜。来迎壁の正面に十六羅漢図、背面に五大明王像。周囲の扉両脇の板壁には真言八祖像。板戸の内面には八方天の色彩仏画が施されている。

## 三重塔内部壁画

三重塔（室町時代） 重要文化財  
仁明天皇が智泉大徳の遺徳を偲んで承和年間（八三四～八四七）に宝塔を建立したと伝える。塔は境内の奥、東を正面として建つ。現存する塔には室町時代の嘉吉二年（一四四二）の刻銘があることから、この時の建立とされる。



石室不動明王立像



五輪塔



十一面觀音像



普賢菩薩騎象像



本尊 阿弥陀如來坐像・四天王立像

普賢菩薩騎象像（平安時代） 重要文化財  
阿弥陀如來を安置する須弥壇の四隅に立つ持国天（東方）、増長天（南方）、廣目天（西方）、多聞天（北方）の四像。多聞天の岩座裏に「願主・少僧都英春 工匠法橋頼調 正応六年（一二九三）癸巳六月日」の墨書銘が記されている。行基作と伝える。

## 四天王立像（鎌倉時代） 京都府指定文化財

像高約3メートル、ケヤキの木造り。胎内に「□□九年丙午九月二日丁丑」の墨書銘が記されている。元号が判らず、九年が干支の丙午に当たる年は「天慶九年（九四六）」しかなく、十世紀中期を代表する貴重な尊像である。行基作と伝える。

## 阿弥陀如來坐像（平安時代） 重要文化財

阿弥陀如來を安置する須弥壇の四隅に立つ持国天（東方）、増長天（南方）、廣目天（西方）、多聞天（北方）の四像。多聞天の岩座裏に「願主・少僧都英春 工匠法橋頼調 正応六年（一二九三）癸巳六月日」の墨書銘が記されている。

## 年・巳年生まれの守護本尊。

十一面觀音像（鎌倉時代） 十二神將像（室町時代） 薬師如來像（室町時代） 釈迦如來像（室町時代） 不動明王像（室町時代） 菩原道真像（室町時代） 学問の神。

石室不動明王立像（鎌倉時代） 重要文化財

花崗岩製で前面二本の角石柱を立て、その上に寄棟造り、枚石の屋根をかけた珍しい建築。奥壁の一枚石には薄肉彫りの不動明王立像を祀り、「応長（三三二）第一初夏六日願主盛現」の銘が線刻されている。

## 五輪塔（鎌倉時代） 重要文化財

正和三年（三三四）、妙空僧正の建立と伝える。初重の軸石の四面には金剛界四仏の梵字が薬研彫りで刻まれている。昭和十八年、軸石のくぼみの中から水晶五輪舍利塔が発見される。

## 厄除け地蔵菩薩（鎌倉時代） 重要文化財

東大寺別当平智僧都の墓と伝える。昭和初期に岩船の北谷墓地から移す。

## 厄除け地蔵菩薩（鎌倉時代） 重要文化財

正和三年（三三四）、妙空僧正の建立と伝える。初重の軸石の四面には金剛界四仏の梵字が薬研彫りで刻まれている。昭和十八年、軸石のくぼみの中から水晶五輪舍利塔が発見される。

## 鬼面（平安時代二面・鎌倉時代一面）・唐金鈴（鎌倉時代・一個）

## 厄除け柴燈大護摩供に使用。

## 歓喜天（聖天）

東大寺別當平智僧都が心願成就祈願のために祀る。商売繁盛、招福、結縁の利益がある。

## 貝吹岩

三十九の坊舎があった頃、「山の僧を集めるために法螺貝を吹き鳴らした岩。この貝吹岩のある山頂からは南山城」帯が望できる。

## 鐘樓

報恩の鐘。

## 石風呂（鎌倉時代）

修行僧が身を清めるための風呂。

## 白山神社

重要文化財

天平勝宝元年（七四九）、岩船寺伽藍守護のために建立と伝える。

## おかげ踊り

京都府登録無形民俗文化財

白山神社に伝わる伝統行事の一つとして、秋祭りに奉納される。（毎年十月十六日）